

どうする？ 精度管理

医療法が改正され、臨床検査の精度管理が適正に実施されることが求められています。臨床検査の精度管理システムは、これまで生化学検査領域を中心に構築されてきました。その結果、生化学検査では高レベル精度管理が可能になり、標準化の推進もあいまって、検査値が収束化してきています。

一方、他の検査領域に目を転じると、精度管理の手法が確立していない点が多く見受けられ、課題が山積しています。そこで、これらの検査領域に焦点を当て、精度管理の現状と課題を明らかにし、今後の方向性を探るべく本特集を企画しました。多くの難題に対して、いくつかの意欲的・先進的な取り組みが紹介されています。一方で、いまだ試行錯誤的な側面があり、道半ばの感が強いことは事実です。しかし、このような取り組みこそが、将来のより適正な精度管理システムの確立につながる一里塚になると期待しています。

佐藤尚武

(順天堂東京江東高齢者医療センター臨床検査科)